



# 重症心身障がい者の グループホームでの暮らしを実現させるために ～生き方が選択できてこそその人生～

重症心身障がい者の暮らしの場として、“これが1つあれば大丈夫！”ということはありません。1人1人の健康状態や家族の状況など様々な環境の中で、本人にとって、どんな暮らしが生きやすく、そして輝けるのかを考えていくことが大切なのではないでしょうか。

その1つとして、入所施設も必要不可欠であり、新しい重心施設への期待も大きく膨らんでいます。一方で、もっと様々な形態での暮らしを望む声も大きく、グループホームで「重心」といわれる人たちも暮らすことができたらいいな・・・、どうしたら、それが可能になるのかな・・・という強い思いがあります。これから、多機能型拠点も方面別に整備されていく予定であり、非医療職の医療的ケアの対応も可能になってきており、重心支援の在り方も変化していく時期を迎えています。これらのことも踏まえて、当事者や家族そして担い手、それぞれの立場で、「できることは何だろう」を模索しながら、グループホームでの暮らしについて、いっしょになって考えていきかけたいと思います。

日時：平成24年11月4日（日） 13:00～16:00 開場 12:30～

会場：横浜ラポール 1階 ラポールシアター

住所：横浜市港北区鳥山町1752 Tel. 045-475-2001 JR・市営地下鉄 新横浜駅より徒歩15分(シャトルバスあり)

参加費用：資料代 200円

参加申し込み：横浜重心グループ連絡会～ぱざぱネット～事務局 嶺 美紀子 宛 10月26日（金）まで

・Eメールアドレス pazapanet@live.jp（携帯電話のメールからも送信可）

件名にシンポジウム申し込みとご記入の上、参加者氏名（車いす使用の方はお知らせください）、連絡先の電話番号、所属をお知らせください。

・FAX（045-381-9807）の場合は、裏面の参加申込書にご記入の上、送信してください。

※事務局から特に連絡がない場合は、当日直接会場にお越しください。

（当日参加も可能ですが、会場準備のためなるべくお申し込みをお願いします。）

第1部 13:00～14:30

始めに

1. 自立する日に向けて
2. グループホームでの暮らしとそこまでの歩き方
3. 支援の立場から伝えたいこと
4. グループホームの現状と課題

横浜重心グループ連絡会～ぱざぱネット～代表  
ハートの会保護者  
グループホーム利用者の保護者  
(NPO法人金沢ひだまりの家理事長)

(敬称略)

白井 美幸  
加藤 繁子  
青木 保子

社会福祉法人キャマロード 共同生活支援部長  
横浜市健康福祉局障害支援課事業支援係長

三浦 茂雄  
押野 治夫

第2部 14:45～16:00

全体討議コーディネーター

社会福祉法人 訪問の家理事長  
横浜重心グループ連絡会～ぱざぱネット～会長

名里 晴美  
下山 郁子

※今年度より、託児は行わないこととなりました。大変心苦しいのですが、何卒、ご理解頂きますよう、お願い申し上げます。

尚、お子様を会場内にお連れになっていただくことは、構いませんので、お申込みの際に、明記して頂けると助かります。

お問い合わせ先 横浜重心グループ連絡会～ぱざぱネット～事務局 嶺 美紀子

Eメール: pazapanet@live.jp

FAX: 045-381-9807

主催: 横浜重心グループ連絡会～ぱざぱネット～/横浜市心身障害児・者を守る会連盟



※今回のシンポジウムは、(社福)横浜市社会福祉協議会、(公財)太陽生命厚生財団の助成を受けて開催致します。

FAX 番号 045-381-9807

シンポジウム参加申込書

11月4日(日)重症心身障がい者のグループホームでの暮らしを実現させるために

	参加者氏名 (車いすの方は、車いす 使用のご記入を)	連絡先(電話番号)	所属先	該当する方に○
1				職員関係者 家族
2				職員関係者 家族
3				職員関係者 家族
4				職員関係者 家族
5				職員関係者 家族
6				職員関係者 家族
7				職員関係者 家族

※ FAX申し込みについて(受付時間は、9時～21時まで)

※ 10月26日(金)までにお申し込みください。

※ 特に連絡が無い場合は、当日直接会場にお越しください。

FAX 番号 045-381-9807